

(3) 陸稲・麦類

ア 陸稲 農薬登録情報

(ア) 土壌処理剤(粒剤・粉粒剤等)

| 除草剤名(一般名、%) | 適用雑草 | 適用土壌 | 備考 |
|---|-----------------------------------|--------|----|
| ゴーゴーサン細粒剤F (ベンディメタリン:2.0%) | 一年生雑草 | | |
| コンボラル (トリフルラリン:1.2%、 ベンディメタリン:1.2%) | 一年生雑草(ツユクサ、キク科を除く) | 砂壤土～埴土 | |
| トレファノサイド粒剤2.5 (トリフルラリン:2.5%) | 一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く) | | |

(イ) 土壌処理剤(液剤・水和剤・乳剤等)

| 除草剤名(一般名、%) | 適用雑草 | 適用土壌 | 備考 |
|----------------------------|-------|-------|----|
| ゴーゴーサン乳剤 (ベンディメタリン:30%) | 一年生雑草 | 砂土を除く | |

イ 小麦 農薬登録情報

(ア) 土壌処理剤(粒剤・粉粒剤等)

| 除草剤名(一般名、%) | 適用雑草 | 適用土壌 | 備考 |
|---|-----------------------------------|---------------|---|
| クリアターン細粒剤F (ベンチオカーブ:8.0%、 ベンディメタリン:0.8%、 リニュロン:1.2%) | 一年生雑草 | 全土壌(但し、砂土を除く) | 1 ヤエムグラに効果が劣る。 |
| サターンバアロ粒剤 (プロメトリン:0.8%、 ベンチオカーブ:8.0%) | 一年生雑草 | | 1 は種深度が浅い場合、土壌が過湿の場合、又は砂質土の場合は使用を避ける。 2 出芽直前の使用は避ける。 |
| ゴーゴーサン細粒剤F (ベンディメタリン:2.0%) | 一年生雑草 | | 麦類での登録 1 排水の悪い転換畑では使用しない。 |
| コンボラル (トリフルラリン:1.2%、 ベンディメタリン:1.2%) | 一年生雑草(ツユクサ、キク科を除く) | 砂壤土～埴土 | 麦類での登録 |
| トレファノサイド粒剤2.5 (トリフルラリン:2.5%) | 一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く) | 砂壤土～埴土 | 麦類での登録 |

(イ) 土壌処理剤(液剤・水和剤・乳剤等)

| 除草剤名(一般名、%) | 適用雑草 | 適用土壌 | 備考 |
|--|-----------------------------------|---------------|--|
| クリアターン乳剤 (ベンチオカーブ:50%、 ベンディメタリン:5.0%、 リニュロン:7.5%) | 一年生雑草 | 全土壌(但し、砂土を除く) | 1 ヤエムグラに効果が劣る。 |
| ゴーゴーサン乳剤 (ベンディメタリン:30%) | 一年生雑草 | 砂土を除く | 1 排水の悪い転換畑では使用しない。 |
| トレファノサイド乳剤 (トリフルラリン44.5%) | 一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く) | | |
| クロロIPC (IPC:45.8%) | 一年生雑草 | | 麦類での登録 |
| ゲザガード50 (プロメトリン:50%) | 畑地一年生雑草 | 砂壤土～埴土 | 麦類での登録 |
| サターンバアロ乳剤 (プロメトリン:5.0% ベンチオカーブ:50%) | 一年生雑草 | | 麦類での登録 1 発芽直前の散布は避ける。 2 沖積土、排水の悪い転換畑では、薬量を減らす。 |

(ウ) 茎葉処理剤

| 除草剤名(一般名、%) | 適用雑草 | 適用土壌 | 備考 |
|---|----------------------|---------|--|
| グリホス液剤 (グリホサートイソプロピルア ミン塩:41%) | 一年生雑草 | | |
| | 多年生雑草 | | |
| サンダーボルト007 (グリホサートイソプロピルア ミン塩:30%、 ピラフルフェンエチル:0.16%) | 一年生雑草 | | |
| | 多年生雑草 | | |
| ハーモニーD F (チフェンスルフロンメチ ル:75%) | スズメノテッポウ、一年生広葉 雑草 | | 1 刺激性があるので、眼に入ら ないように注意する。使用後は 洗眼する。 2 極微量でも薬害を生じるの で、使用後の散布機タンク内の 洗浄に工業用高純度消石灰を 使用する。(例:水200ℓ中に400g 使用) 3 少量散布で使用する場合は、 少量散布に適合したノズルを 装着した速度連動式地上液剤 散布装置を使用する。 |
| | カズノコグサ | | |
| バサグラン液剤(ナトリウム 塩) (ベンタゾンナトリウム 塩:40%) | 一年生雑草(イネ科を除く) | | 2 ヤエムグラ対象の場合は、基準 内で多めの薬量を散布する。 |
| バスタ液剤 (グルホシネート:18.5%) | 一年生雑草 | | |
| 草枯らし (グリホサートイソプロピルア ミン塩:41%) | 多年生雑草 | | |
| | 多年生イネ科雑草 | | |
| | 一年生雑草 | | |
| | 一年生雑草 | ほ場内の周縁部 | |
| アクチノールB乳剤 (アイオキシニル:30%) | 一年生広葉雑草 | | 麦類での登録 |
| ラウンドアップマックスロー ド (グリホサートカリウム 塩:48%) | 一年生雑草及び多年生イネ科 雑草 | | 麦類での登録 |
| ザクサ液剤 (グルホシネートPナトリウ ム塩 11.5%) | 一年生雑草 | | |

注意事項

- ・作物及び周辺の農作物に飛散しないように注意する。
- ・雑草が大きくなり過ぎると効果が劣る。薬剤が雑草全体によく付着するように散布する。
- ・散布後6時間以内の降雨は効果を低下させるので、天候をみながら散布する。

ウ 小麦(秋播栽培) [農薬登録情報](#)

(ア) 土壌処理剤(粒剤・粉粒剤等)

| 除草剤名(一般名、%) | 適用雑草 | 適用土壌 | 備考 |
|--|---|---------------|----------------------------------|
| ガレースG (ジフルフェニカン:0.15%、 トリフルラリン:2.0%) | 畑地一年生雑草 | 全土壌(但し、砂土を除く) | |
| ロックス粒剤 (リニュロン:1.5%) | 一年生雑草 | | |
| ゴーゴーサン細粒剤F (ベンディメタリン:2.0%) | 一年生雑草 | | 麦類での登録 1 排水の悪い転換畑では使用 しない。 |
| コンボラル (トリフルラリン:1.2%、 ベンディメタリン:1.2%) | 一年生雑草(ツユクサ、キク科 を除く) | 砂壤土～埴土 | 麦類での登録 |
| トレファノサイド粒剤2.5 (トリフルラリン:2.5%) | 一年生雑草(ツユクサ科、カヤ ツリグサ科、キク科・アブラナ 科を除く) | 砂壤土～埴土 | 麦類での登録 |

(イ) 土壌処理剤(液剤・水和剤・乳剤等)

| 除草剤名(一般名、%) | 適用雑草 | 適用土壌 | 備考 |
|---------------------------------------|---------|--------|--|
| ボクサー (プロスルホカルブ 78.4%) | 一年生雑草 | | |
| クロロIPC (IPC:45.8%) | 一年生雑草 | | 麦類での登録 |
| ゲザガード50 (プロメトリン:50%) | 畑地一年生雑草 | 砂壤土～埴土 | 麦類での登録 |
| サターンバアロ乳剤 (プロメトリン:5.0%ベンチオカーブ:50%) | 一年生雑草 | | 麦類での登録 1 発芽直前の散布は避ける。 2 沖積土、排水の悪い転換畑では、薬量を減らす。 |
| ロロックス (リニュロン:50%) | 一年生雑草 | 砂土を除く | 麦類(秋播栽培)での登録 1 浸水や冠水のおそれがある場合は使用しない。 2 イネ科雑草には効果が劣る。 |

(ウ) 茎葉処理剤

| 除草剤名(一般名、%) | 適用雑草 | 適用土壌 | 備考 |
|-------------------------------------|-------------------|------|---|
| エコパートフロアブル (ピラフルフェンエチル:2.0%) | 一年生広葉雑草 | | 1 散布後葉に白色斑点が発生する場合はあるがその後の生育には影響はない。 2 極端な低温時(5℃以下)には効果が劣るおそれがあるので基準内で多めの薬量で使用する。 3 麦踏み後数日間は使用を避ける(薬害助長)。 |
| タッチダウンiQ (グリホサートカリウム塩:44.7%) | 一年生雑草 多年生イネ科雑草 | | |
| アクチノールB乳剤 (アイオキシニル:30%) | 一年生広葉雑草 | | 麦類での登録 |
| ラウンドアップマックスロード (グリホサートカリウム塩:48%) | 一年生雑草及び多年生イネ科雑草 | | 麦類での登録 |

注意事項

- ・作物及び周辺の農作物に飛散しないように注意する。
- ・雑草が大きくなり過ぎると効果が劣る。薬剤が雑草全体によく付着するように散布する。
- ・散布後6時間以内の降雨は効果を低下させるので、天候をみながら散布する。

エ 大麦 農薬登録情報

(ア) 土壌処理剤(粒剤・粉粒剤等)

| 除草剤名(一般名、%) | 適用雑草 | 適用土壌 | 備考 |
|---|-----------------------------------|---------------|---|
| クリアターン細粒剤F (ベンチオカーブ:8.0%、 ペンディメタリン:0.8%、 リニュロン:1.2%) | 一年生雑草 | 全土壌(但し、砂土を除く) | 1 ヤエムグラに効果が劣る。 |
| サターンバアロ粒剤 (プロメトリン:0.8%、 ベンチオカーブ:8.0%) | 一年生雑草 | | 1 は種深度が浅い場合、土壌が過湿の場合、又は砂質土の場合は使用を避ける。 2 出芽直前の使用は避ける。 |
| ゴーゴーサン細粒剤F (ペンディメタリン:2.0%) | 一年生雑草 | | 麦類での登録 1 排水の悪い転換畑では使用しない。 |
| コンボラル (トリフルラリン:1.2%、 ペンディメタリン:1.2%) | 一年生雑草(ツユクサ、キク科を除く) | 砂壤土～埴土 | 麦類での登録 |
| トレファノサイド粒剤2.5 (トリフルラリン:2.5%) | 一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科・アブラナ科を除く) | 砂壤土～埴土 | 麦類での登録 |

(イ) 土壌処理剤(液剤・水和剤・乳剤等)

| 除草剤名(一般名、%) | 適用雑草 | 適用土壌 | 備考 |
|---|-----------------------------------|---------------|--|
| クリアター乳剤 (ベンチオカーブ:50%、 ペンディメタリン:5.0%、 リニュロン:7.5%) | 一年生雑草 | 全土壌(但し、砂土を除く) | 1 ヤエムグラに効果が劣る。 |
| クロロIPC (IPC:45.8%) | 一年生雑草 | | 麦類での登録 |
| ゲザガード50 (プロメトリン:50%) | 畑地一年生雑草 | 砂壤土～埴土 | 麦類での登録 |
| サターンパアロ乳剤(プロメトリン:5.0% ベンチオカーブ:50%) | 一年生雑草 | | 麦類での登録 1 発芽直前の散布は避ける。 2 沖積土、排水の悪い転換畑では、葉量を減らす。 |
| トレファノサイド乳剤 (トリフルラリン:44.5%) | 一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く) | | 麦類(小麦を除く)での登録 |
| ゴーゴーサン乳剤 (ペンディメタリン:30%) | 一年生雑草 | 砂土を除く | |

(ウ) 茎葉処理剤

| 除草剤名(一般名、%) | 適用雑草 | 適用土壌 | 備考 |
|--------------------------------------|----------------------------|------|--|
| エコパートフロアブル (ピラフルフェンエチル:2.0%) | 一年生広葉雑草 | | |
| タッチダウンiQ (グリホサートカリウム塩:44.7%) | 一年生雑草 | | |
| ハーモニーDF (チフェンスルフロンメチル:75%) | スズメノテッポウ、一年生広葉雑草 カズノコグサ | | 1 刺激性があるので、眼に入らないように注意する。使用後は洗眼する。 2 極微量でも葉害を生じるので、使用後の散布機タンク内の洗浄に工業用高純度消石灰を使用する。(例:水200ℓ中に400g使用) 3 少量散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した速度連動式地上液剤散布装置を使用する。 |
| バスタ液剤 (グルホシネート:18.5%) | 一年生雑草 | | |
| アクチノールB乳剤 (アイオキシニル:30%) | 一年生広葉雑草 | | 麦類での登録 |
| ラウンドアップマックスロード (グリホサートカリウム塩:48%) | 一年生雑草及び多年生イネ科雑草 | | 麦類での登録 |
| グリホス液剤 (グリホサートイソプロピルアミン塩:41%) | 一年生雑草 | | 麦類(小麦を除く)での登録 |
| バサグラン液剤(ナトリウム塩) (ペンタゾンナトリウム塩:40%) | 一年生雑草(イネ科を除く) | | 麦類(小麦を除く)での登録 |
| 草枯らし (グリホサートイソプロピルアミン塩:41%) | 一年生雑草 | | 麦類(小麦を除く)での登録 |
| ザクサ液剤 (グルホシネートPナトリウム塩11.5%) | 一年生雑草 | | |

注意事項

- ・作物及び周辺の農作物に飛散しないように注意する。
- ・雑草が大きくなり過ぎると効果が劣る。薬剤が雑草全体によく付着するように散布する。
- ・散布後6時間以内の降雨は効果を低下させるので、天候をみながら散布する。

オ 使用回数^の留意点

- (ア) 除草剤は剤ごとに使用基準回数が定められているので注意する。
- (イ) また、除草剤の成分ごとにも使用基準回数が定められているので、体系処理で複数の除草剤を使用する場合には個々の成分の使用回数が使用基準回数を超えないように注意する。